



今こそ聞いてもらおうとき

意思決定は、患者と医療従事者(HCP)の間の協力的なプロセスでなければなりません

患者さんは、医療従事者(HCP)とオープンな話し合いをするために十分な情報を受け取る必要があります。患者団体は、地域の医療システムが提供するさまざまなオプションや可能性に関する優れた情報源ですが、質問をしたり、率直な会話をするのは、あなたに合わせて治療を調整するのに役立ちます。

あなたは医療上の決定において重要な役割を果たします。腎臓がんの治療の選択肢に関する知識があれば、自分自身のケアを主張することができます。以下は、あなたをサポートするリソースです。

意思決定支援ブックレット

国際腎臓がん連合(IKCC)とAction Kidney Cancerは、腎臓がん患者、介護者、家族のための共用意思決定支援ツールを開発しました。

これらのブックレットは、今後の意思決定の役に立つ貴重な情報を提供します。IKCCのウェブサイトからダウンロードまたは印刷することができます。¹

オープンなコミュニケーション

共有の意思決定には、医療提供者とのオープンなコミュニケーションが含まれます。治療の選択肢が1つしかない場合でも、体に何が起きているかを理解し、知識を身につけ、感情をコントロールしやすくなります。²

共有意思決定(SDM)とは？

SDMは、患者さんにとって適切なケアや治療について、患者さん自身が意思決定できるように支援するプロセスです。これは協力的なプロセスであり、ケアを受けている患者さんと医療従事者間の会話から始まり、ケアを提供します。

SDMは、臨床医の専門知識と患者さんの希望に基づいて、個人にとって適切な意思決定を行うようサポートします。³

会話は次のようにまとめます。

- 治療の選択肢、エビデンス、リスク、利益など、臨床医の専門知識
- 患者さんが最もよく知っていること：患者さんの嗜好、個人的な状況、目標、価値観、信念。



目的は何ですか？

SDMは、患者さん中心の治療の核となる要素であり、患者さんは自身のケアや治療に関する決定に積極的に関与します。

HCPと共に働くことで、利用可能な治療選択肢のリスクと利益を理解しながら、患者さんの信念とニーズを聞くことができます。^{4 5}

どのように関与する必要がありますか？

患者さんがどのように治療に関与するかを、個人別に選択します。HCPと協力して率直な会話を行うことは、あなたのニーズに合わせたケアを行う上で役立ちます。HCPの多くはSDMを継続的なプロセスとして認識しており、決定が変われば、その選択は変えられると理解しています。⁶

SDMは、意思決定にどの程度関与したいかを選択する機会を提供します。医療従事者との意思決定において積極的に関与しないことを望む患者さんもいます。⁷

どのように役立つのでしょうか？

調査研究から、意思決定に関与する人が増えると、⁸患者さんは次のようになることがわかっています。

- 自らの健康とケアに関する決定について、あまり残念に思っていない
- 臨床医とのより良い関係を報告する
- 治療により忠実になる
- 転帰に対する満足度の向上を含め、より良い経験を報告する。

詳細については、以下を参照してください。

- 国際腎臓がん連合 - **意思決定支援リソース**
- Action Kidney Cancer - **共有意思決定**
- 国の声 - **意思決定の共有をサポートする**

国固有のアドバイスについては、IKCC関連会社のメンバーにお問い合わせください。

- 1 Action Kidney Cancer. Shared decision making. 詳しくは：<https://actionkidneycancer.org/help-support/shared-decision-making/>
- 2 News Medical Life Sciences. Two Cents' Worth: Shared decision making in renal cell carcinoma (RCC). 詳しくは：<https://www.news-medical.net/news/20221215/Two-Cents-Worth-Shared-decision-making-in-renal-cell-carcinoma-%28RCC%29.aspx>
- 3 NHS. Shared decision making. 詳しくは：<https://www.england.nhs.uk/personalisedcare/shared-decision-making/>
- 4 National Voices. Supporting Shared decision making. 詳しくは：<https://www.nationalvoices.org.uk/publication/supporting-shared-decision-making/>
- 5 Healthwatch Cambridgeshire. Empowering patients to share decision making on treatment and care. 詳しくは：<https://www.healthwatchcambridgeshire.co.uk/news/2021-06-21/empowering-patients-share-decision-making-treatment-and-care#:~:text=The%20new%20guideline%2C%20from%20the%20National%20Institute%20for,to%20and%20that%20their%20needs%20are%20put%20first.>
- 6 BMC. 2022. Practices and perspectives of patients and healthcare professionals on shared decision-making in nephrology. 詳しくは：<https://bmcnephrol.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12882-022-02887-4>
- 7 <https://www.nice.org.uk/about/what-we-do/our-programmes/nice-guidance/nice-guidelines/shared-decision-making>
- 8 NHS. 2019. Shared decision making guide. 詳しくは：<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2019/01/shared-decision-making-summary-guide-v1.pdf>